

第 47 期

コース No. 2

経営管理者 研修

経営幹部
育成プログラム
10月開講
全60日間



光る目、輝く未来を見すえて。

経営革新を実現する創造的な発想と主体的なリーダーシップを獲得する

経営全体の広い視点から自社の革新的な未来を創造し、更なる発展を牽引する、自立した経営管理者へ！

企

業が経営環境の変化に対応して更なる成長を図るためには、従来からの固定概念を打ち破り、新たに独創的な価値を創造していく「経営革新」が求められます。そしてその実現のためには、企業活動を現場の先頭に立って牽引する「経営管理者」の方々が、自社のあるべき将来像である“ビジョン”の実現に向けて、創造的な発想と主体的なリーダーシップを発揮していくための知識とマネジメントスキルを習得しておくことが、必要不可欠となります。

本コースは、自社の経営革新を推進する経営管理者に必要な幅広い知識やマネジメントの実践法などについて、総合的かつ体系的に習得していただけるカリキュラムとなっています。

厳しい経営環境の今だからこそ、企業の成長と発展を担う幹部人材育成のために本コースをご活用いただき、自社の経営体質の改善・強化、そして発展的な未来の創造にお役立ていただくことをお勧めいたします。

研修の特長

実践的

毎月5日間ずつ受講するインターバル開講により、受講しやすく、また、学んだことを自社で確認・応用しながら体得できる「実践的」なコースです。

参加型

豊富な演習やグループ討議を通じて、受講者自身が主体的に考えながら進める「参加型」のコースです。

課題解決型

各分野の専門家が指導するゼミナールを中心に、受講者それぞれの課題に応じた実務的できめ細かな個別指導を行う「課題解決型」のコースです。

経営管理者に必要な能力を効果的に取得

- 1 経営管理と管理者の役割についての徹底理解！
- 2 主体的なリーダーシップを発揮するための自己革新！
- 3 企業活動の全体像を把握し幅広い経営者的視点を獲得！
- 4 経営の分析手法やマネジメント手法を体系的に習得！
- 5 経営ビジョン・戦略の立案能力の獲得・実践！
- 6 自社の経営革新を実現する具体的ノウハウをマスター！

本コースの
受講をご検討の企業様へ

- ・ 研修や施設をご見学いただけます。電話・メール等で事前にお問い合わせください。
- ・ 社内の人材育成にお悩みの企業様には、個別に適切な研修メニューをご提案します。

卒業生の
声 45期

45歳からの学び直し

この一年間の学びを通じて、三つの大きな気づきがありました。まず、人間関係の難しさです。言葉の受け取り方や価値観の違いを理解することで、他者への配慮や心の余裕が生まれることを実感しました。次に、AIとの向き合い方です。適切な指示で高い成果を出す一方、対応次第で課題にもなり得ると感じ、AIに対しても丁寧で確かな関わりが必要だと学びました。そして何より、仲間や先生方の柔軟な思考と真摯な姿勢に刺激を受けました。

技術部部長として45歳で学び直しの機会を得られたことは、自身の成長において大きな転機でした。45期経営管理者研修で素晴らしい方々と出会えたことに心より感謝しています。



株式会社俳優座劇場
技術部 部長
養田 浩之

経営者の
声

社員の成長は企業の推進力になる

当社は、取引先のご紹介で中小企業大学校を知りました。1953年の設立以来、70年余りにわたり舞台を通して社会に貢献してまいりました。しかしその間、私を含め「経営」についてしっかりと教育を受けた社員は、ほとんどいませんでした。創業100年企業を目指す上で、将来の推進力となる社員を育成するためには、「経営」に対する意識や考え方を学ぶことが不可欠だと考えていました。

今回、初めて社員の養田さんに1年間の経営管理者研修を受講してもらいましたが、入学から3ヶ月ほど経ったあたりから、彼の仕事への姿勢に変化が見られ始めました。やはり、全くの異業種で活躍されている、同じような立場の皆さまに囲まれる環境が、彼自身の視野を広げ、成長を後押ししてくれたのだと感じています。中でも一番驚いたのは、卒業論文の発表でした。彼が本気で研修に取り組み、1年かけて経営について学んだという達成感を、私自身も強く感じる事ができました。

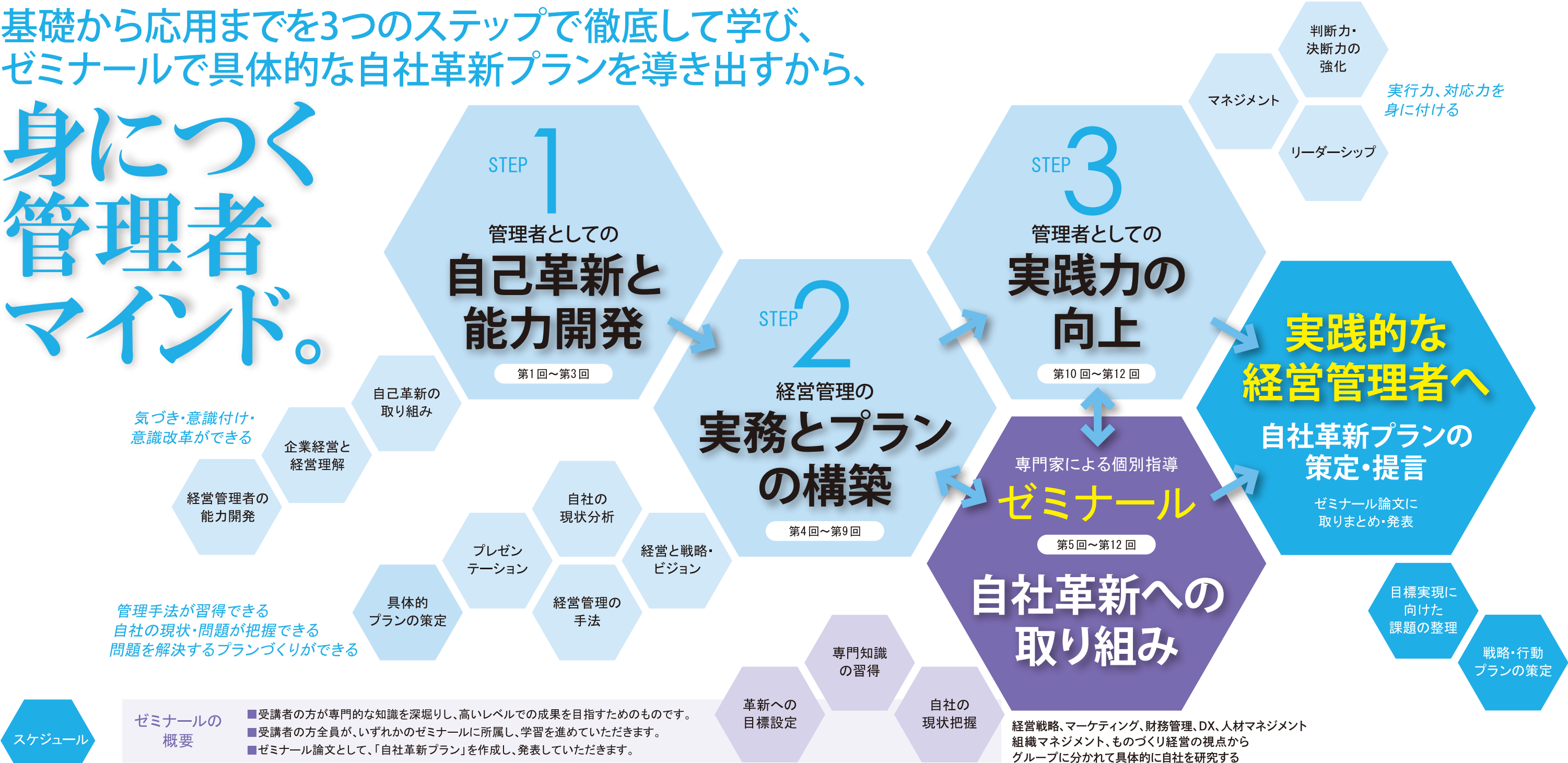
社員の成長は、企業の推進力に直結します。今後も、この経営管理者研修を次世代の幹部候補となる社員に継続して受講してもらい、企業全体の底上げを図っていきたく考えています。



株式会社俳優座劇場
代表取締役社長
藤江 修平

基礎から応用までを3つのステップで徹底して学び、
ゼミナールで具体的な自社革新プランを導き出すから、

身につく 管理者 マインド。



第1回 自己革新への取り組み方

- 2026年 10/19 [月] ～10/23 [金]
- 企業経営と経営革新
 - リーダーとしての自己ビジョンづくり
 - 円滑なコミュニケーションによる信頼関係構築
 - 管理者としての自己理解

第7回 プランづくりの進め方①

- 2027年 4/12 [月] ～4/16 [金]
- 利益計画・資金計画の作成[演習]
 - プレゼンテーションスキル
 - ゼミナール③

第2回 企業経営と経営管理

- 2026年 11/9 [月] ～11/13 [金]
- 自立した経営管理者としての視点と役割
 - 環境社会に対応した経営の考え方
 - ビジネスシミュレーション
～経営の仕組みを知る～

第8回 プランづくりの進め方②

- 2027年 5/17 [月] ～5/21 [金]
- マーケティング戦略の立て方
 - ゼミナール④ ゼミナール論文・中間発表会
 - ゼミナール⑤

第3回 経営管理者の能力開発

- 2026年 12/7 [月] ～12/11 [金]
- 経営管理の基礎 (PDCA型マネジメント)
 - 身近な業務から始めるDX入門
 - 労務管理の基礎知識
 - 実践的な人材採用・社員教育の進め方

第9回 プランづくりの進め方③

- 2027年 6/7 [月] ～6/11 [金]
- 経営革新ケーススタディ(企業事例研究)
 - 経営革新ケーススタディ
 - 業務改善が活発に行われる企業体質づくり
 - 経営戦略とプランづくり[演習]
 - ゼミナール⑥

第4回 経営管理の手法と実践①

- 2027年 1/18 [月] ～1/22 [金]
- 経営戦略の立案プロセス
 - 論理的思考法による問題解決

第10回 自社での実践準備①

- 2027年 7/5 [月] ～7/9 [金]
- 新事業展開
 - イノベーション経営の実践
 - 多様な人材を活かした企業のあり方
 - ゼミナール⑦

第5回 経営管理の手法と実践②

- 2027年 2/15 [月] ～2/19 [金]
- 財務管理の基礎知識
 - 組織マネジメント
 - ゼミナール⑧

第11回 自社での実践準備②

- 2027年 8/16 [月] ～8/20 [金]
- ゼミナール⑨ ゼミナール論文の提出
 - 職場で取り組むメンタルヘルス
 - 企業戦略としてのリスクマネジメント
 - 中小企業の海外展開

第6回 経営管理の手法と実践③

- 2027年 3/8 [月] ～3/12 [金]
- 財務分析
 - 人材マネジメント
 - ゼミナール⑩

第12回 自社での実践準備③

- 2027年 9/6 [月] ～9/10 [金]
- 企業法務の基礎知識
 - リーダーシップと部下指導
 - 管理者としての自己実現
 - ゼミナール論文発表会
 - 終講式

※カリキュラムは、変更する場合がございますのでご了承ください。

中小企業大学校 東京校長 あて

年 月 日現在

フリガナ				代表者役職			
会社名	創業年：西暦 年			代表者氏名			
所在地	〒 都道府県						
TEL				FAX			
業 種	E.製造業 I-1.卸売業 I-2.小売業 R.サービス業 D.建設業 G.情報通信業 H.運輸業 M.旅館業 Z.その他 具体的に()			業種分類 (製造業のみ○印をおつけください)	9.食品 10.飲料 11.繊維 11.衣料 12.木材 13.家具 14.紙 15.印刷 16.化学 17.石油 18.プラスチック 19.ゴム 20.皮革製品 21.窯業 22.鉄鋼 23.非鉄金属 24.金属製品 25.はん用機械 27.業務用機械 28.電子部品 29.電気機械 30.情報通信機械 31.輸送用機械 32.その他製造業		
主要取扱品目				資本金	万円	従業員数	人 (うちパート 人)
東京校での 受講実績	ある（経営後継者・経営管理者・工場管理者養成コース・その他） ない					人材育成計画作成への関心 ある ない	
研修情報の 入手先	1. DM（研修ガイド） 2. DM（パンフレット等） 3. ホームページ 4. Web広告・SNS 5. メルマガ 6. 受講者 7. 商工団体等 8. 金融機関 9. 税理士等専門家 10. 新聞・雑誌等 11. 訪問・電話 12. セミナー・イベント 13. その他（ ）						
フリガナ				担当者 E-mail			
事務連絡 担当者	部署 役職			担当者電話番号			
反社会的勢力でないことの確約について 当社（当機関）は、暴力団等の反社会的な勢力に該当せず、今後においても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを確約します。また、反社会的勢力に該当し、もしくは暴力的な要求行為等に該当する行為をしたことが判明した場合には研修の受講を中止されても異議申し立てを行いません。							

受講者履歴書

(現在、上記申込企業(自社)とは別の会社で勤務している場合でも、下記欄は申込企業における所属部署及び勤続年数等をご記入ください。)

フリガナ				生年月日(西暦)		年齢	性別
氏名				年 月 日		歳	
所属部署				役職	勤続年数		年
担当業務 の内容				代表者 管理者	役員 管理者候補等	担当業務	年
所属部署 所在地	〒 都道府県						
TEL: FAX:				受講者E-mail: (パソコンメールのみ)			
自宅住所	〒			TEL: 携帯電話:			
最終学歴	西暦 年 月			(大学院・大学・短大) (専門学校・高校) 学部 学科(卒業・中退)			

※受講者E-mailは、受講決定後、事前課題のご連絡に使用いたしますので、パソコンのアドレスを必ずご記入ください。

写真貼付

縦4.0cm
横3.0cm

写真の裏面に氏名
をご記入ください。

年	月	主な職歴・資格

※本受講申込書に写真を貼付して、当校あてにご郵送ください。

研修時に使用する 企業情報について	当研修では、カリキュラムの中で企業情報を活かした講義・演習があり、資料の持参をお願いしております。但し、持参資料については受講生の了承なく、他者に開示するものではありません。(使用予定資料：財務諸表、売上データ、就業規則等)	了解した	☐
研修派遣の社内 体制整備について	受講生が全60日間出席できるように不在時の対応等、参加しやすい環境の整備をお願いしています。	了解した	☐
個人情報の 保護について	個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、当機構内で実施する事業で使用させていただきます。当該個人情報の第三者（業務委託先を除く）への提供または開示はいたしません。ただし、お客様の同意がある場合及び、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。		

入寮希望（該当箇所の○印をおつけください。）				東京校メルマガ 発行時の送信可否	可 ・ 不可
希望する※	☐	希望しない	☐		

大学校使用欄				
--------	--	--	--	--

募 集 要 項

●対象者 下記(1)、(2)のいずれにも該当する方

- (1) 中小企業の経営者、経営幹部、経営管理者とその候補者の方
(2) 心身ともに健康な方

中小企業とは、資本金又は従業員数のいずれかが下記の範囲内である企業です。

業 種	資本金	従業員数
製造業、運輸業、建設業、 ソフトウェア業、情報処理サービス業、 その他の業種	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下
旅館業	5千万円以下	200人以下

●期 間 2026年10月19日(月)～2027年9月10日(金)
原則 午前9時20分～午後4時20分(昼食休憩1時間含む)

●定 員 30名

●受講料 557,000円(教材費含む・税込)

※受講料は変更になる場合があります。

●ノートパソコンの持参について

各種演習やゼミナール論文作成のため、受講にあたってはノートパソコンをご持参ください。

※Microsoft Word・Excel・PowerPoint等のソフト
を使用していただきます。

●申込方法

受講申込書(本パンフレット内のもの)に必要事項をご記入の上、
当校あてご郵送ください。

東京校ホームページからもダウンロードできます。

(<https://www.smrj.go.jp/institute/tokyo/>)

●受入決定と受講料の納入

受講可能な方については、開講の約1.5ヶ月前までに当校から「受
講決定通知兼振込依頼書」を送付いたします。

また、受講料につきましては、「受講決定通知兼振込依頼書」記載
の口座へ指定期日までにお振込みください。

※振込手数料は貴社でご負担ください。

※受講をキャンセルされる場合には、必ず書面(FAX、メール可)に
てご連絡ください。

※納入後の受講料は、受講をキャンセルされる場合でも、その全部
又は一部を申し受けます。

※「受講決定通知兼振込依頼書」に記載された指定期日までに受
講料をお振込みいただけない場合、受講決定を取り消す場合が
ありますので、ご注意ください。

●申込締切日 2026年8月19日(水)

※先着順での受付になりますので、お早目にお申込みください。

※多くの企業の方にご受講いただけるように、原則1社あたり
1名様の受入とさせていただきます。

(受講枠に余裕がある場合を除く)

※応募にあたり、研修60日間の全日程が出席可能な社内体制
を整備したうえでの派遣をお願いしております。

入寮を希望される方へ

●場 所 東大和寮(校舎併設)

〒207-0022 東大和市桜が丘2-137-5

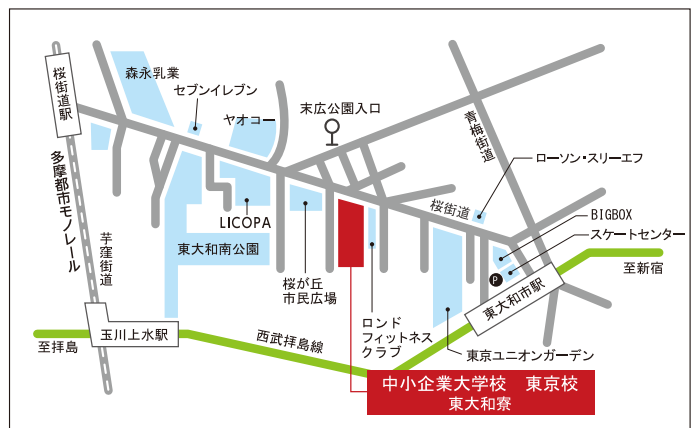
●費 用 1泊朝食付2,700円(税込)

※寮費は変更になる場合があります。

●食 事 校内食堂利用の場合、昼食・夕食で1,200円程度。

●申込方法 入寮申込書(受講申込書の下段)にご記入ください。

中小企業大学校 東京校 交通アクセス



研修生用の駐車・駐輪設備がございませんので、受講にあたっては電車・バス等の公共交通機関でお越し下さい。

●JR山手線 高田馬場駅から 西武拝島線拝島方面行き 東大和市駅下車 徒歩10分

●JR中央線 国分寺駅から 西武国分寺線小川駅乗り換え、西武拝島線拝島方面行き 東大和市駅下車 徒歩10分

●JR中央線 立川駅から 多摩都市モノレール 玉川上水駅・桜街道駅下車 徒歩15分